

平成 30 年度かんきつのミカンハダニの薬剤感受性検定成績書

長崎県病虫害防除所

1. 目的

長崎県内のカンキツ栽培地域に分布するミカンハダニについて、各種殺ダニ剤（常用濃度および3倍希釈濃度）に対する薬剤感受性を調査し、今後の防除対策の参考とする。

2. 検定概要

1) ミカンハダニ採集地点と採集月日

採集地	採集月日	接種月日	薬剤浸漬		調査	
			処理月日	産卵日数 (日)	判定月日	処理後日数 (日)
諫早市東園	6/18	6/19	6/21	2	6/29	8
西海市丹納	7/5	8/28	8/30	2	9/10	10
佐世保市宮	6/18	6/19	6/21	2	6/29	8
諫早市長田	7/2	7/3	7/5	2	7/12	8
雲仙市伊福	6/18	6/19	6/21	2	6/29	8

※西海市小迎固体群は、ミカン葉・果実で増殖後、検定に供した。

2) 検定場所：病虫害防除所

3) 検定方法：リーフディスク法

採集したミカンハダニ雌成虫をミカン葉片に1葉片あたり10～15頭接種し、2日間産卵させた後、雌成虫を取り除き、直ちに葉片を所定濃度の薬液に10秒間浸漬した。薬剤処理8日後、または10日後に未ふ化卵数、死亡幼虫数、生存幼虫数を調査した。

なお、処理期間中の室温は25℃に設定した。

4) 検定薬剤及び濃度

供試薬剤名	有効成分	含有率	IRAC code	登録希釈倍 数(倍)	供試希釈倍数(倍)	
					常用濃度	1/3濃度
コロマイト水和剤	ミルベメクチン	2.0%	6	2,000	2,000	6,000
バロックフロアブル	エトキサゾール	10.0%	10B	2,000～3,000	2,000	6,000
カネマイトフロアブル	アセキノシル	15.0%	20B	1,000～1,500	1,000	3,000
スターマイトフロアブル	シエノピラフェン	30.0%	25A	2,000～3,000	3,000	9,000
ダニコングフロアブル	ピフルブミド	20.0%	25B	2,000～4,000	4,000	12,000
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン	30.0%	23	2,000	2,000	6,000

3. 結果の概要・要約

1) コロマイト水和剤

常用濃度の補正死亡率は、諫早市東園、雲仙市伊福、また3倍希釈濃度では諫早市長田を除く各地点で90%以下を示し、感受性が低下している可能性が示唆された。

2) バロックフロアブル

3倍希釈濃度の補正死亡率は雲仙市伊福でやや低かったが、常用濃度の補正死亡率は、全ての地点で90%以上と高かった。

- 3) カネマイトフロアブル
 常用濃度および3倍濃度の補正死亡率は、全ての地点で90%以上と高かった。
- 4) スターマイトフロアブル
 常用濃度および3倍濃度の補正死亡率は、諫早市東園を除く地点で90%以上と高かった。
- 5) ダニコングフロアブル
 常用濃度および3倍濃度の補正死亡率は、全ての地点で90%以上と高かった。
- 6) ダニゲッターフロアブル
 常用濃度および3倍濃度の補正死亡率は、全ての地点で90%以上と高かった。

表 平成30年度かんきつのミカンハダニ薬剤感受性検定結果(補正死亡率)

地点	濃度	コロマイト 水和剤	バロック フロアブル	カネマイト フロアブル	スターマイト フロアブル	ダニコング フロアブル	ダニゲッター フロアブル
諫早市東園	常用	81.0	98.7	100.0	83.8	100.0	99.1
	3倍	78.9	100.0	98.5	81.8	100.0	99.0
西海市丹納	常用	90.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	3倍	73.2	99.3	98.5	100.0	100.0	99.2
佐世保市宮	常用	90.5	98.8	98.1	100.0	100.0	100.0
	3倍	79.4	98.7	95.9	100.0	100.0	100.0
諫早市長田	常用	94.2	91.3	100.0	93.9	100.0	100.0
	3倍	95.8	92.5	92.4	92.1	99.6	98.0
雲仙市伊福	常用	77.5	95.4	100.0	100.0	100.0	100.0
	3倍	53.0	75.5	96.5	100.0	100.0	98.4

注)セルの塗りつぶし部分:補正死亡率が90%以下